

# 大阪市の全会計財務書類4表（平成21年度）

## 全会計財務書類4表（総務省方式改訂モデル）からわかったこと

- ・資産……………11兆9,241億円（市民1人当たり471万円）
- ・負債……………5兆8,059億円（ // 229万円）
- ・行政サービスのコスト（費用）… 2兆 440億円（ // 81万円）

### 資金収支計算書

1年間の資金（現金）の流れを性質別に表しています。

地方税や事業収入などの収入により経常的収支で生じた資金をその他の収支に充てた結果、年度末の資金（現金）は1,287億円となりました。

期首資金残高	1,250億円
資金増減	37億円
経常的収支	3,196億円
公共資産整備収支	△562億円
投資・財務的収支	△2,600億円
翌年度繰上充用金増減額	3億円
期末資金残高	1,287億円

### 貸借対照表

特別会計も含めた、大阪市の持っている資産と債務を表しています。

約12兆円の資産を保有しており、全体の約9割は行政サービスを提供するために必要な資産です。

資産	11兆9,241億円	負債	5兆8,059億円
公共資産	10兆4,622億円	地方債（借入金）・退職手当引当金など	
有形固定資産・売却可能資産			
投資等	7,068億円		
投資及び出資金・貸付金など			
流動資産	7,547億円		
（うち資金	1,287億円）		
繰延勘定	4億円		
		純資産	6兆1,182億円
			【過去・現世代の負担】

### 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産（過去・現世代がすでに負担したお金）の1年間の変動額を表しています。

1年間で180億円増加しました。

期首純資産残高	6兆1,002億円
変動額	180億円
純経常行政コスト	△1兆3,734億円
その他	1兆3,914億円
期末純資産残高	6兆1,182億円

### 行政コスト計算書

1年間の経常的な行政活動にかかるコスト（費用）を表しています。

普通会計と同様、生活保護等の社会保障給付といった「移転支出的なコスト」が約

経常行政コスト	2兆 440億円
人にかかるコスト	3,634億円
人件費など	
物にかかるコスト	4,837億円
減価償却費・物件費など	
移転支出的なコスト	1兆 705億円
社会保障給付など	
その他のコスト	1,264億円
支払利息など	

